

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・総合地震対策計画策定及び対策実施により、地震時の安全度の向上が図られた。			
定量的指標の達成状況	指標（重要な 管きょのうち、 耐震化ができた 区間）	最終目標値	28km	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	28km		
	指標（下水処理場・ポンプ場 で耐震診断の実 施か所数）	最終目標値	13か所	目標値と実績値 に差が出た要因	災害時に人命に係る施設である処理場や、2次災害防止に係る施設及び公衆衛生の保全などが必要なポンプ場の耐震化 工事を優先したことにより、優先度の低いポンプ施設の耐震診断を先送りしたため。
		最終実績値	10か所		
	指標（下水処理場・ポンプ場 で耐震化対策が 完了したか所 数）	最終目標値	3か所	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	3か所		
	指標（下水処理場・ポンプ場 で耐水化対策が 完了したか所 数）	最終目標値	1か所	目標値と実績値 に差が出た要因	耐津波の指針、及び計算例が平成26～27年度に発行され、工事発注時期の見直しが必要となったため。
		最終実績値	0か所		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		・マンホールトイレ15か所を整備し、地震発生時の公衆衛生の確保及び避難住民の精神衛生の向上が図られた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地震対策及び津波対策を実施し、目標達成を図っていく。</li> <li>・マンホールトイレの普及を強化し、目標値を超える基数を設置していく。</li> </ul>					